

吹田市立山田東中学校 図書だより

平成27年度 第11号

2016年3月7日発行

今年度最後の図書だよりです。毎号ていねいに読んでもらって感謝しています。
三年生は、図書室ともお別れですね。昼休み・授業とよく利用してくれてありがとう。
一・二年生には、これからも図書室の本と大いに親しんでくれることを願っています。

重要なお知らせ

年度末のため、春休み向けの本の貸し出しは行いません。

本を借りている人は、下記の期日までに必ず返却してください。

3年生…3月8日(火)

1・2年生…3月18日(金)

教職員…3月23日(水)

開室日・貸し出し終了日などの一覧は、教室または図書室の掲示プリントで確認してください。

寄贈本—ありがとうございました。

①高畠耕一郎著『街なかの自然』

著者は吹田市元理科教諭。身近な動植物について、わかりやすく解説。

②野生生物を調査研究する会著

『生きている淀川』魚・鳥・植物などオールカラーで見やすい本。

③末次由紀作『ちはやふる30』

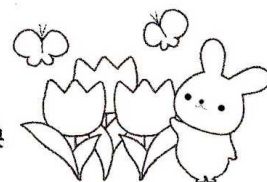
*2015年度PTA会長神野様よりたくさんのお本を寄贈していただきましたが、年度末のため、登録・利用は次年度以降になります。ご了承ください。

☆☆科★先生からのオススメ本☆

マリリン・バーンズ著／マーサ・ウェストン絵

『考える練習をしよう』こり固まった頭をとときほぐそう！

楽しみながら問題を考えていくうちに、自然に頭の体操ができます。絵も魅力的な本。来年度購入予定。



図書室に届いた生徒作品

今様 (七五調です)

君を想えば この胸の
内に咲きたる 桜花
愛しき想い 花に乗せ
未来と共に 伝えたい

燃ゆる華咲く 宵闇の
月下に咲くは 彼岸花
不知火のごと 想う愛
貴方の為に いつまでも

夢現にも つか見
愛しき者の その顔も
幻とでも 言うのなら
果てるべきかな このままで

短歌二首

刻々と巡る季節を眺めつつ
今日も貴方に想いを馳せて

蒼空の袂を翔ける風一つ
悪戯好きの冬の風かな

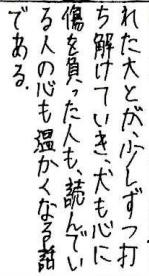
【2015年4月～2月末(163日間)の図書貸し出し冊数とよく借りた人ベスト20】

1年2,291冊 2年2,389冊 3年1,690冊 合計6,370冊 1日平均39冊

- | | | | | |
|------------|------------|------------|------------|--------------|
| ①3-3☆留875冊 | ②1-2☆田640冊 | ③2-4☆429冊 | ④3-3☆坂389冊 | ⑤2-5☆川360冊 |
| ⑥1-2☆野307冊 | ⑦2-5☆本266冊 | ⑧2-2☆安244冊 | ⑨2-1☆本183冊 | ⑩1-5☆本183冊 |
| ⑪3-4☆口138冊 | ⑫1-1☆原116冊 | ⑬1-4☆川102冊 | ⑭2-1☆邊99冊 | ⑮2-3☆谷98冊 |
| ⑯2-4☆村94冊 | ⑰2-3☆水85冊 | ⑱2-3☆野71冊 | ⑲1-2☆野69冊 | ⑳1-4☆峰69冊 以上 |

続☆星守る大☆

「星守る犬」とは、犬が決して子に入らな
い屋を、物欲しげに
ずと眺めている犬
のことを指す。



自分のことを必要として
くれていること、誰かが
自分のことを得てくれて
いることは、確かだし、
皆ある程度は幸せな
はずなのに、自分の今の
現状に満足できていない

親に見捨てられ
ていたり、近所の人
たちになじめないな
かたりと、何か心に
傷を負った人たちと
その人たちに語り

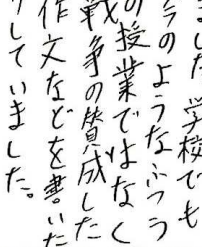
守る大
であること。

揭示しています。



はたしの

この本はた
しのゲンは昔
の日本をテー
マにした物語
です。
今は平和な

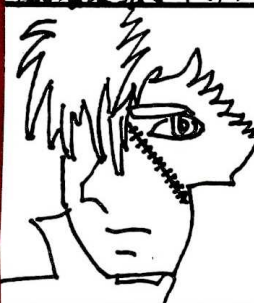


感心相心

ブラッ
ジャッ



死な生き古が目を離せ
 ません。
 闇匿者として生きる彼
 だすが命を扱う人間と
 しての姿や時になら
 目でエーモラスな姿を
 見せるところにギョッ
 プがあり。悪い人が良
 い人かわからないのが
 好きです。羨しみなが
 ら読めつつ生命といふ
 ものを改めて考えさせ
 られる素晴らしい作です



「ア、クジヤ、クジハ
アラ、クジヤツクを
ビーゴのコンビがい
い味を出してると思
います。」
「ビーゴはアラ、クジ
ヤ、クジヤ手紙で作り
出した女の子です。お
おしやまでお衆目で
クールでニルなはず
ラ、クジヤ、アのそ
ろにいと対照でお
笑ひコンビのように
いいチームワークに
なつていきます。」

(2)

登場人物

読書支援者竹内からのオススメ本

「キッチン」 よしもとばなな著

この本は、私が皆さんと同じ年頃に読んだお気に入りの本です。／唯一の肉親であった祖母が亡くなり天涯孤独になったみかげは、寂しさのあまりキッチンで毎夜過ごしていた。ある日、祖母の行きつけだった花屋の雄一が訪ねて来て、一緒に暮らそうと提案してきた。彼とその母（実は父親）の家に同居することになったみかげ。自分の境遇を理解してくれる二人の何気ない優しさに、みかげは少しずつ孤独な心を和ませていく。／他二編あるうちの満月-キッチン 2-では、魅力的な雄一の母を中心にした物語です。主人公の心の描写が丁寧に描かれています。



「15歳の寺子屋 森をつくる」 C・Wニコル

C・Wニコルって誰？と思う人も多いと思いますが以前、某ハム企業のCMに脚本家・倉本蒼さんと一緒に出演されていた方です。イギリス出身の彼が何故日本国籍を取得したのか、また長野県に広大な土地を購入しアフアン（風の通る谷という意味）の森を何故作ったのか経緯が書かれています。私たちの住む吹田には、万博公園という大きな公園があります。ここには見上げるほどの大きな立派な木が植えてあります。元から植わっていた木ではなく、森などから運ばれてきています。

では、森はどのようにしてできるのでしょうか？森の役割とは？自然環境破壊とは…と難しく考えなくても、この本は分かりやすい言葉で書かれています。



星とたんぽぽ

金子みすゞ



みすゞさんが、この詩を書いたのは、一九二五年。十八年後の一九四三年には、サン・テグジュペリが『星の王子さま』で「心で見なければなんにも見えないよ。かんじんなものは、目に見えないんだ。」と…。

青いお空の底ふかく、
海の小石のそのように、
夜がくるまで沈んでる、
星のお星は眼にみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものもあるんだよ。
散つてすがれたたんぽぽの、
瓦のすきに、だアまって、
春のくるまでかくれてる、
つよいその根は眼にみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものもあるんだよ。

ご挨拶

三年生みなさん、もうすぐ卒業ですね。

私も2月末をもって読書支援活動は終了です。

二学期の始業式、赴任挨拶の場で「夏休みに2冊以上本を読んだ人はいますか？」と皆さんにお聞きしたら、みんなの手前照れくさいのか、腰の辺りで挙手していた数人の生徒さんの姿が印象的でした。毎日のように本を借りに来る常連さん、図書だよりを読んで借りに来る人、友達と待ち合わせて楽しそうに本を眺めている人、一人静かに本を楽しんでいる人…etc。

挙手してなくても実際は熱心な読書家の生徒さんが多くて驚きました!!

本は活字が多くて読むのが苦手という人もいますが、絵本でもいいのです。

本があなたの支えになりますように。短い間でしたが、ありがとうございました。

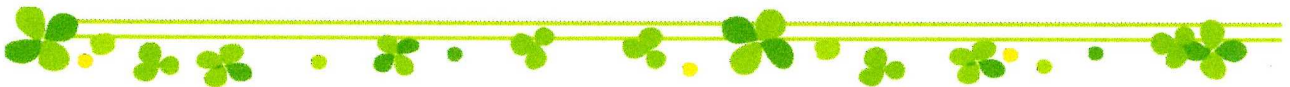
読書活動支援者 竹内智恵



図書担当青木の読書ノートから 《本の読み方・大好きな本》

《本の読み方》 皆さんは、本を読み終わったあとどうしていますか？私は、もう 35 年ほどになりますが、簡単な「読書ノート」をつけています。「書名・著者名・出版社・出版年・価格・借りたときは図書館名」と感想や心に響いた言葉などを記録します。新しい年ごとに①～通し番号をつけて、よかった程度に応じて一重丸から花丸をつけます。現職教員の間は、年間 100 冊ほどしか読めませんでした。今は 200 冊程度は読め、読書ノートは、私の大切な宝物です。

借りた本は、気になったところや感銘を受けた箇所に付箋を貼りながら読み進めます。後から、読書ノートに書き写すためです。付箋の枚数が 20 を越えた時点で、借りていた本の場合は読むのを止め、改めて購入して、線を引きながら読みます。最初から買った本は、鉛筆片手に読み進めます。辞書もそばに置いて、分からない言葉はすぐ調べて、自分の本に意味を書き込みます。自ら進んでの「学び」は楽しいですよ。



《大好きな本》は山ほどありますが、皆さんの人生で一度はぜひ読んでほしい 7 冊を紹介します。

紙面の都合でここに表紙写真は載せませんが、図書室のオススメ本コーナーにあります。

- 1、ヘミングウェイ作『老人と海』—たった一人で出漁した老漁夫は、巨大なカジキマグロと闘い勝利するのだが、その帰り…。自然と人間の生き様を考えさせ、中学時代、いちばん心打たれた本。
- 2、ル・グウィン作『ゲド戦記』—自分に不思議な力が備わっているのを感じた少年ゲドは、真の魔法を学ぶため魔法使いの学校に入る。ゲドの成長物語。清水真砂子さんの訳がとにかくカッコいい！
- 3、ミヒヤエル・エンデ文／ヘッヘルマン絵『オフェリアと影の一座』—劇場の舞台のかげで、役者たちがつかえないようセリフをささやく仕事に一生を捧げたオフェリアさん。深い感動を呼ぶ幻想的な絵本。
- 4、アレックス・シアラー作『13 カ月と 13 週と 13 日と満月の夜』—とっても面白くて、最後までハラハラ・ワクワク。本を読むって楽しい！と思える一冊。金原瑞人さんの訳した本は、どれも魅力的。
- 5、羽海野チカ作『3 月のライオン』—幼い時、両親を事故で亡くした桐山零（高校生のプロ棋士）と、身勝手な父親に捨てられた川本家の三姉妹を中心に展開するマンガ。温かくて心励まされる物語。
- 6、瀬尾まいこ作『おしまいのデート』—瀬尾さんの小説は登場人物が身近で優しくて、読み終わった後のぼのぼのとする。この本は、5 つの短篇。デートといってもいろいろあって、泣きそうになる話も。
- 7、ヴィクトール・E・フランクル著『夜と霧』—ユダヤ人の精神分析学者が、自らのナチス強制収容所体験をつづった本。想像を絶する過酷な環境を生き抜こうとする人たちの、思索に言葉に態度に行動に魂が震えます。ガス室を発明したのも人間、ガス室で毅然とした態度で祈ることができるのも人間。



長い期間、皆さんや皆さんの先輩、先生や保護者の方々と、図書室で幸せな時間を過ごしてきましたが、この三月でお別れです。図書室の本は、いろんな考えで、皆さんにいいものと思って選んできましたが、まだまだ手に触れてもらえず悲しい顔をしている本もたくさんあります。お決まりの本だけでなく、さまざまな本を手にとってみて、あなたにとっての一冊を見つけ、新たな出会いを作ってくれることを、願っています。本には、書き手の全力が注がれています。用紙から印刷・製本まで、たくさんの人たちの真心が詰まっています。そんな素敵なお本との出会いを経験しない人生は、もったいなさ過ぎると思いませんか。

「本を読む力」が、あなたの人生を、どこかで必ず助けてくれます。本とも人とも、よい出会いを！